

令和4年3月15日

苫小牧市長

岩倉博文様

一般社団法人 苫小牧風花の会

理事長 甲谷由美子

要望書

平素より当会の運営に関しまして、格別のご高配を賜り心よりお礼申し上げます。

今年度は、新型コロナウイルス変異株の感染症拡大防止による自粛や緊急事態宣言の発出等により運営上多大な影響を受け、公共施設の閉鎖・イベントの中止等により大幅な減収となっております。

コロナ禍の中でひとり親家庭は、休校時の子どもの預け先 昼食の準備 非正規雇用解雇等の様々な不安を抱えて生活をしています。国や市からの助成金で一時は不安の解消にも繋がりましたが、終息が見えない中、精神面においてはひとりで抱える不安は底知れないものがあります。

昭和26年に創立した当会は、諸先輩の並々ならぬご努力の上に現在は公共施設等に売店の設置・自販機の設置・委託事業等行政機関のご理解とご指導のもと継続して参りました。

今後とも、山積しております課題を解決しながら次世代へ継承して参りますので、下記につきまして一層のご理解と特段のご厚情をお願い申し上げます。

記

1、助成金額の維持継続を要望

毎年、事業費の補助に対して給付頂き、ひとり親家庭の支援には大変助かっております。

コロナの終息の見えない中で、財政の厳しい中とは存じますが今年度も助成金額の継続をお願い致します

2、自動販売機の設置台数維持について

・自動販売機の現状の台数維持を強く要望致します。

コロナ禍の2年間外出自粛期間等もあり自販機利用が減少しております。当会にとって自販機の販売手数料は大事な財源で大きな部分を占めており、今後は台数の維持継続を切にお願い致します。

3、(仮) 苫小牧市民ホールに写真撮影場所設置について(継続要望)

・昨年の要望時に前向きに協議して頂けるとの回答に安堵致しております。

少子高齢化に伴い、若年層の免許証所持離れや高齢者の免許返納が進み写真撮影が減少している現状があります。写真撮影は大きな売り上げと安定した収入、会の目的でもある就労の場に繋がりますので写真撮影場所の設置を是非お願い致します。

4、委託事業について

・コロナ禍の中で、委託事業は安定した収入に繋がっており現況の中で大変助かっております。

・ひとり親家庭を支える会として会員の生活状況を把握している中で、ひとり親家庭に特化した業務の中での情報提供を要望致します。

・学習塾は環境が同じ仲間が集い学ぶ楽しさや居場所づくりの一環として今後ともご支援をお願い致します。